

## 知事発言要旨（令和2年3月20日、第3回対策本部会議）

○3月14日に、本県で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されたところではありますが、感染者ご自身の慎重な行動と地元をはじめ、関係者の皆様が一丸となって感染拡大防止に取り組んでいただいた結果、濃厚接触者も最小限にとどめることができたところであり、現在のところ、全員症状もなく、健康状態は良好とのことであります。

○さて、昨日、新型コロナウイルス対策にかかる政府の専門家会議の提言が示されました。

○国内の感染状況としては、引き続き、持ちこたえているが、一部の地域で感染拡大がみられる状況であり、引き続き、最も感染拡大のリスクを高める環境である、換気の悪い密閉空間で、人が密集し、近距離での会話が行われるという3つの条件が同時に重なる場所を避けていただけない場合には、ある日、爆発的患者急増（オーバーシュート）が起こりかねないとの見解が示されております。こうした感染発生リスクを回避することが極めて重要であり、県でも、このような点を含め、手洗いや咳エチケット等の対策をはじめ、感染予防の徹底について、あらためて周知を図っていく必要があります。

○また、クラスター連鎖防止の効果を最大限にしていく観点から、感染状況が拡大傾向にある地域、感染状況が収束に向かい始めている地域並びに一定程度に収まってきている地域、感染状況が確認されていない地域といった感染状況別にバランスをとって必要な対応を行っていく必要があるとされています。

○さらに、学校については、学校の一斉休校だけを取り出し「まん延防止」に向けた定量的な効果を測定することは困難との見解も示されました。

○また、国や自治体、市民・事業者への提言がだされ、その中で、学校については、地域ごとの対応に関する基本的な考え方を踏まえる必要があることや、日々の学校現場における「3つの条件が同時に重なる場」を回避する内容が示されております。

○また、大規模なイベントについては、引き続き、主催者がリスクを判断して慎重な対応が求められております。

○本日の対策本部会議では、専門家会議の提言の概要の共有化とそれを踏まえた、臨時休業期間終了後の学校の対応、並びに県が主催するイベント等の取り扱いについて、協議を行い県としての方針を決定したいと考えております。

○県民生活や地域経済への影響が表れてきておりますので、各部局においてはしっかりとその状況の把握に努めながら、引き続き、万全の対策を講じていただくようお願いいたします。